



## 8月に行われたイベントなどについてお知らせします

### 日光夏の花火

8月3日(土)、日光夏の風物詩「2019日光夏の花火」が大谷川河川敷で開催され、約5,000発の花火が打ち上げられ、露店が並んだ会場付近は、多くの人でにぎわいました。

また、今年もSL大樹と共演が行われ、SLの汽笛に合わせ、大きな花火が打ち上がりました。



河川敷の芝生で花火を楽しむ人々



華やかな会場が熱気に包まれました



初めての和楽踊りに挑戦

### 日光和楽踊り

8月2日(金)、古河電気工業(株)日光事業所で日光和楽踊りが開催されました。午後7時の開幕と同時に会場内に張り巡らされた電飾や看板が一斉にとり、揃いの浴衣で参加した事業所や市民、観光客などが踊りを楽しみました。日光和楽踊りは、大正2年9月に大正天皇と貞明皇后が古河電気工業(株)日光事業所の前身である日

光電気精銅所を視察された際に、会社・所員の祝宴の席で自然発生的に歌い踊られたのが、発祥の由来とされています。オランダから日光を訪れたフレデリックさんは踊りに参加し「初めてこのようなお祭りに参加しました。華やかですが、とても親しみやすい雰囲気でした。楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

### 石彫館ワークショップ

8月10日(土)、ふくろうの森手塚登久夫石彫館で、ストーンアートのワークショップが行われました。26名の参加者は手のひらサイズの石を選び、その形や雰囲気を見て、絵の具で自由に絵を描いていきました。

高橋大輝くん(5歳)は「メロンの絵を描いたけど、難しかった。またやってみよう」と話してくれました。



慎重に石に絵を描いていきます



2周年記念のヘッドマークで登場し、温かく迎えらる SL 大樹



おいしいビールでお出迎え



木陰を走り抜けるランナー

### SL大樹運行開始2周年記念イベント

8月10日(土)・11日(日)・祝、SL大樹運行開始2周年を記念し、鬼怒川温泉駅を中心にさまざまなイベントが行われました。10日に開催されたセレモニーでは、地域の方へ感謝状が贈られた他、一日駅員に任命された神山翔さん(第68回レレン・ケラー記念音楽コンクール最高受賞賞)が、美しい歌声の披露や、SL転車のアナウンスなどを行いました。セレモニー終了後は、駅前広場で日光ビアガーデンがオープンし、来場者は日光の地ビールやグルメを堪能。また、同会場をゴールにマウンテンランナー星野由香理さんが主催する鬼怒川トレイルランニングが行われ、10日は10名のランナーが龍王峡など約20kmを走り抜け、汗を流しました。



8月  
祭

### 和泉のヒマワリ

8月、和泉地区の休耕田に咲くヒマワリが見頃を迎えました。ボランティア団体「いずみネットワーク」が地区の活性化のため平成27年から実施しており、駐車場や休憩所、無料で摘み取りができるエリアも設けられています。この後、休耕田には菜の花の種がまかれ、3月に花の見頃を迎える予定です。



太陽に向かって元気に咲くヒマワリ

### 足尾町納涼祭

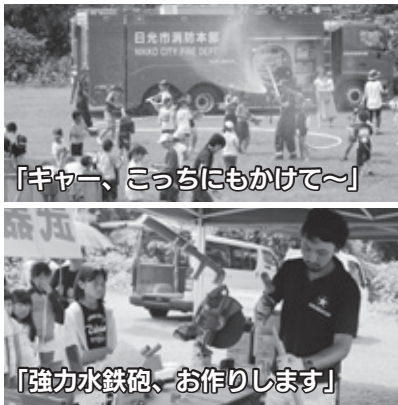
8月13日(火)、毎年恒例の足尾町納涼祭が足尾庁舎前で開催されました。かつての足尾銅山での労働を歌にした「直利音頭」のお囃子に合わせ、多くの参加者たちが盆踊りを楽しみました。不安定な天候でしたが、お楽しみ抽選会や仮装大会、直利音頭コンテストも行われ、櫓の周りにはたくさんのお囃子でにぎわっていました。



毎年、ユニークで巧みな仮装大会

### 日光水祭り

8月12日(月・振替)、大谷川左岸の東武鬼怒川線陸橋の上流側で日光水祭りが開催されました。晴天となったこの日、持参した水鉄砲での水の掛け合いや消防車からの放水で、参加者280名はびしょぬれに。5回目となった今回は、塩ビ管をその場で加工して水鉄砲を製作する武器屋も登場。暑さも吹き飛んだ1日でした。



「キャー、こっちにもかけて〜」

「強力水鉄砲、お作りします」

### 下水道フェスティバル

8月24日(土)、町谷の鬼怒川上流浄化センターで下水道フェスティバルが開催されました。このイベントは、下水道の普及促進の一環として毎年開催されており、普段見ることのできない浄化施設を見学した参加者は、家庭などから集められた汚水が浄化され、川に放流されるまでの過程と下水道の大切さを学びました。



浄化施設の説明を受ける参加者

### 作新学院女子硬式野球部全国制覇



左から福田さん、金田さん、川村さん

8月9日(金)、作新学院女子硬式野球部で市内在住の金田萌依さん(2年)、川村果穂さん(2年)、福田聖さん(1年)が市役所を訪れ、第23回全国高等学校女子硬式野球選手権大会での優勝を大嶋市長へ報告しました。

「女子の夏の甲子園」といわれるこの大会は、7月26日(金)から兵庫県丹羽市で開催され、8月2日(金)の決勝戦では、作新学院が履正社(大阪府)を4対3の逆転サヨナラで破り、32校の頂点に立ちました。創部7年目の快挙です。

「チームがまとまっていたからこそ、優勝ができました」(金田さん)、「この優勝で、女子野球部を多くの人に知ってもらいたいです」(川村さん)、「初優勝でたくさんの人に祝福されました」(福田さん)と皆さん、清々しい笑顔で話してくれました。

「先輩たちに負けないよう、自分たちの野球で来年は2連覇を目指します!」と話し、すでに次の目標に向かって3人の瞳は、キラキラと輝いていました。



優勝旗と作新学院女子野球部の皆さん